

穂学



令和5年度

広州日本人学校 学校便り

[No.23]

令和6年2月23日(金)

発行責任者 校長 加藤康徳

「次は TERA (テラ) スクールか？」

本校は2020年に iPad200台、そして2022年に200台、そして、WiFi 環境の充実とともにこの2月に電子黒板を全教室（特別教室含む）と体育館に配備し、これで文部科学省が2023年度までに整備する予定の「GIGA スクール構想」をハード面で達成することができました。（※日本ではコロナ禍により前倒しで整備が進められていました。）このことにより本校の ICT 環境が格段に向上しました。（※電子黒板配備によりいままでのプロジェクターは撤去）今後はソフトの面と教員側の研修体制を充実させ、一層子どもたちの「豊かな学び」を向上させようと考えております。

GIGA スクール構想とは※文部科学省の HP から一部抜粋

Society 5.0 時代を生きる子供たちに相応しい、誰一人取り残すことのない公正に個別最適化され、創造性を育む学びを実現するため、全ての児童生徒の「1人1台端末」等の ICT 環境を整備する。

日本はもちろん日本人学校も GIGA スクール構想が達成されているようです。MEGA（メガ）→GIGA（ギガ）と時代の通信速度や容量が上がってきました。MEGA ,GIGA と来ると次は「TERA（テラ）スクール構想」が出てくるのでしょうか。でも、よくよく考えると「TERA（テラ）スクール」って、意味は「寺子屋」じゃないかと考えてしまうのは私だけでしょうか。時代は繰り返すというのはこのことかもしれません。

※文科省が進めている「GIGA スクール構想」の「GIGA」の意味は、「Global and Innovation Gateway for All（全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉）」を意味しています。決して通信速度等の「GIGA」では無いことを申し添えておきます。



ダイナミックな授業



これにより一層ダイナミックな授業を展開することができるようになりました。理事会の皆様をはじめこれまでの環境整備に関わっていただいた方々のご協力に感謝いたします。

※電子黒板の授業を受けた中学部の生徒の感想

「とても見やすいです。私たちが卒業する前に整備されて良かったです。」

「6年生を送る会について (小学部)」

2月21日(水)、体育館で6年生を送る会を開催しました。それぞれの学年がこれまでの感謝の気持ちを6年生に伝えていました。



「読み聞かせボランティアの皆様、1年間、ありがとうございました。2/22(木)」



※読み聞かせボランティアの会では、来年度の会員を募集しております。

「今年度の部活(中学部)が最終日を迎えました。2/22(木)」



「スクールバスの清掃について 2/20 6h」



小学部6年生が家庭科の授業「共に生きる地域での生活」で2月20日の6時間目に「スクールバスの清掃」を実施しました。

【題材構成】

- 1 地域の人ひととの関わりを見つめよう！
- 2 地域でできることは何だろう！
- 3 やってみよう・ふり返る！

<子どもの感想>

- ・「バス清掃を通して、こんなに汚れていたんだ！と感じ、運転手さんやバスマザーさんに感謝できたと思います。」
- ・「私はバス清掃で人が気づかなくても、気持ちを込めてていねいに掃除をすることが大事だと感じました。」
- ・「僕はこのバス清掃を行い、今までの感謝を伝えるいい機会であり、お礼をできたと思いました。」
- ・「私は掃除が好きではありませんでした。ですが、この学習で掃除の気持ちよさを知ることができました。」

ダイナミックな授業

